

# 令和5年度 第3回 清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和5年10月13日（金）15：00～16：00

2 場所 鈴鹿市立清和小学校 図書室

### 3 議事

(1) 学力・学習状況（6年生全国学力・学習状況調査結果より）【グループ討議】

	今、取り組むべき課題	取り組み		
		地域 ・ボランティア ・自治会 ・地域づくり協議会 等	家庭 ・保護者 ・PTA	学校
1	⑩計画を立てて勉強 肯定的回答が多いことをうのみにして よいか、疑問。 ⑪学校の授業時間以外の勉強 学校からの宿題しかしていない。		宿題を金曜日に終わ らせてしまうと、土 日にすることがな い。小分けにして毎 日取り組むようにす る必要性もある。	
2	⑭図書館の利用が少ない。			
3	自己肯定感の向上が課題 友達との対話・会話が少ないのではない か。			先生の声かけ
4	クロームブック、パスワードの設定によ り保護者が見ることができない。進捗や 取り組み状況が保護者から見にくい。			一斉メールでも、宿 題の取り組み状況等 伝えることができな いか。
5	友達関係に満足感があれば、幸せな気持 ちになれるのではないか。			
6	スクリーンタイムについての課題		ゲーム等の利用時間 の管理が必要。ゲー ムの弊害等について もしっかりと知らせ ていく必要がある。	
7	地域行事への子どもたちの参加が少な い。	保護者をターゲット にして発信をしてい かないといけない。		

### (2) その他

- ・ 地域学習について

11月2日（木）14時から実施。

都合がつくようなら参観。進め方等について意見をいただき、今後の参考にする。

#### 4 鈴鹿市教育委員会事務局 CS アドバイザーより

グループ別討議として話し合いをしていただいた。新しい試みとして良かったと思っている。今日のようにそれぞれが意見を出し合うことが大切だと感じた。今後、清和小学校としての課題をこのような場を通してピックアップして、話し合いを続けてことが大切だと感じた。

また、話題にあがったことの中で、保護者に学校の情報が伝わっていかないことに課題があると感じた。子どもたちも、学校での出来事などを保護者に話さない。一方、家庭では生活のことについて、どうしても指示することが多くなり、ほめるというところまでいけない。しかし、学校の情報がわかれば、それらを話題にしながらほめる機会も増えるかもしれない。家庭で自己肯定感を高めるためにどうすればよいかということも話題になったが、学校の情報が保護者に伝わることは、ほめる機会を増やし、やがて自己肯定感の高まりにもつながる。これに関わって、グループの話し合いの中では、紙媒体のもの等も利用しながら、学校から発信していくことも大切ではないかという意見も出されていた。

学力の状況を見ると、清和小学校は、国語が良い。国語が全国平均より7点高い。児童質問紙の読書のところを見ると全国平均より低いところもあるが、例えば、2時間以上読む子は全国の2倍近くいる。図書館に行く子の割合も高い。国語は読解力に関わるので、読書の習慣がついていることが大きい。一方、課題として、読書時間が10分より少ない子もいる。習慣づいていない子に対しても取組を進めていただくと、子どもたちの力の向上につながると思われる。